

ユースアクション東北 2018 年度伴走者 応募要項

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

東日本大震災の被害が大きかった岩手県、宮城県、福島県において、社会や地域をより良くするためのアクションを起こす若者（特に、高校生）に寄り添い、活動を支援する社会人又は大学生（ここでは「伴走者」と呼びます）を募集します。

伴走者には、2018 年 4 月から 2019 年 3 月末まで、若者を支える手法とともに学び考えるとともに、若者の活動をサポートしていただきます。これまでの経験やスキルを生かし、若者の社会参画を応援したいと思われる方はぜひご応募ください。

【本プログラム実施の背景と思い】

東日本大震災は、東北の各地域がこれまで抱えていた課題を表面化させました。人口の減少、一次産業の担い手不足など、以前にも増して地方の衰退が危ぶまれています。

しかし、一方で明るいニュースも多くあります。そのうちの一つは、震災後、地元のために何かしたいという高校生や大学生が多く現れ、さまざまな活動を行っていることです。2011 年 5 月～6 月にかけて、1.1 万人を対象に実施したあるアンケートによると、岩手・宮城の両県の 5 地域の小学 4 年生～高校生のうち被災地域の子どもの約 9 割が「自分の町のために、何かしたい」と答えたそうです。おそらく、現在の東北の町には、日本のどの地域よりも「地元をよりよくしたい」という思いをもつ若者が多く存在しているのではないのでしょうか。

こうした若者たちが数多く育ち、地域に活気や変化をもたらす活躍が続々と生まれる。私たちはそうした東北を目指し、若者のサポートをする大人の力を結集したいと考えています。どうしたらもっと彼らを動機づけ、力を発揮してもらえるか、どうしたら彼らの学びの質を最大化できるか、どうしたら自由なアイデアや気づきを現実にするサポートができるか、一緒に探究していきませんか。

若者との接し方についてはおそらくたくさんの方の手法や考え方などあると思いますが、それを一つにまとめるのではなく、本ネットワークが新しい化学変化の場となることを願っています。各々の知見や、それぞれの地域で感じている気付きや悩みを共有しながら、お互いをサポートし高め合えるコミュニティが出来れば幸いです。

【概要】

プログラム名	ユースアクション東北
募集人数	伴走者 10 名程度
伴走者とは	通常、「伴走者」とは視覚障害のあるマラソンランナーのそばについて走り、走路や給水所の位置を知らせ、安全にゴールできるようにサポートする人のことです。ここでは、岩手県、宮城県、福島県において、地域の課題解決や活性化に貢献する活動を行う若者（特に、高校生）に寄り添い、若者たちが活動を完遂できるように、身近で支援する社会人又は大学生を指します。先生や指導者ではなく、あくまでもサポーターです。
参加期間	2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日 ※2019 年 3 月末迄を一区切りとし 2019 年 4 月以降の継続参加の意思を確認予定です
実施体制	主催：公益財団法人東日本大震災復興支援財団 協力：認定特定非営利活動法人カタリバ、認定特定非営利活動法人底上げ、 一般社団法人 Bridge for Fukushima

【応募条件】

伴走者の役割	<p>伴走者となる皆様に求められる役割は、主に以下の 2 点となります</p> <p>1. <u>活動検討会議への参加、若者のプロジェクトへの伴走</u> 地域の課題解決や活性化に貢献する活動を行う若者に寄り添い、課題の解決方法をともに考え、若者たちが活動を完遂できるようサポートを行っていただきます。若者の自主性を引き出し、活動の前進を促すと共に、これまでのご経験に基づくご助言や、協力者のご紹介などをお願いいたします。そのため可能な限り、若者が活動を検討する催事に参加していただき、伴走をご担当ください。</p> <p>2. <u>進捗報告やフィードバックによる経験・知見の共有</u> 担当となった若者の活動の進捗を定期的にご報告いただき、成功事例・課題等を本伴走者ネットワークに共有いただきます。またアンケート等を通じて、ご意見等のフィードバックをお願いします。伴走者の経験・知見を互いに共有していただくことで、本ネットワーク全体の底上げおよび将来的な拡充に貢献いただきたいと思います。</p>
研修合宿への参加	<p><u>研修合宿 5 月 26 日(土)～27 日(日)</u></p> <p>伴走者に必要となるスキルや若者のサポート手法（動機づけ、プロジェクト管理等）を学ぶための研修合宿に参加していただきます。合宿は、講義・ワークショップ等の形式で実施する予定です。</p> <p>参加者の皆様には、単なる受講者としての立場にとどまらず、これまでの経験や知見を他の参加者に共有いただくことで、若者の育成手法の改新にご協力いただきたいと思います。</p>

2018年度 イベントスケ ジュール (予定)	<p>1. 活動期間：2018年4月1日～2019年3月31日</p> <p>(1)研修合宿① 5/26-27 (仙台)</p> <p>(2)伴走活動① 6/23、24 (岩手・宮城・福島の3県で)</p> <p>(3)伴走活動② 9月下旬</p> <p>(4)伴走活動(合宿)③ 10月上旬 (山形)</p> <p>(5)伴走活動③ 1月下旬</p> <p>(6)研修合宿② 2019年3月下旬(東京)</p> <p>※その他、不定期に研修・交流会・ワークショップ等を開催しますので、都度ご連絡をいたします</p>
費用負担	<p>1. 当財団が指定する各種行事への参加 原則として、弊財団より交通費・宿泊費等をご負担いたします</p> <p>2. 若者との個別ミーティングなど、伴走活動に伴う費用 自己負担をお願いいたします ※若者の活動費は、別途募集される助成金制度にて一部支給の可能性あり</p>
報酬	伴走活動に伴う報酬はありません
活動場所	原則、岩手県・宮城県・福島県。一部、山形県や東京都などの他地域あり

【応募資格】

応募資格	<p>① 岩手県・宮城県・福島県のいずれかに居住又は勤務していること (応募時現在)</p> <p>② 20歳以上であること (応募時現在)</p> <p>③ 地元の若者の活動を積極的にサポートし、良き伴走者になる意思があること</p>
------	---

【応募方法】

応募方法	<p>以下 URL にアクセスし、必要項目を入力の上、送信してください</p> <p>https://goo.gl/T94sPu</p>
応募締切	2018年3月23日(金)
選考	<p>以下の内容から総合的に判断し決定します</p> <p>①応募フォーム記載事項</p> <p>②ヒアリング (FaceTime か Skype を使用)</p>
応募結果	2018年4月6日 (金) までに連絡
問合せ窓口	<p>公益財団法人東日本大震災復興支援財団 相内 (あいない)</p> <p>E-mail: youth-action@minnade-ganbaro.jp</p> <p>電話: 080-3096-7224</p>

【高校生の活動事例】

岩手県 SYM-fromユースみやっこベース

地元の高校生が、和太鼓やブラスバンドなどのパフォーマンスの披露や、オリジナルグッズの制作など、自分に出来ることを生かし宮古市を盛り上げるイベントを開催。150人の参加者を集めた。



宮城県 ロールプレイング気仙沼

参加者同士で協力して与えられたミッションを解き、ロールプレイングゲーム感覚で街歩きを楽しむことができる観光ツアーを開催。



【伴走者認定証】

伴走者にご就任いただいた方には、弊財団より認定証をお送りさせていただく予定です。

※画像はイメージです

